

令和2年度 大阪府立登美丘高等学校 第2回学校運営協議会 記録

○日時：令和2年9月15日（水） 11：00～13：00

○場所：本校 校長室

○出席者：斎藤 巡友（桃山学院大学経営学部講師）、宮崎 久司（虹ヶ丘地区自治会長）、苜廣 啓史（同窓会長）、藤田 有紀子（PTA会長）、天野信治（野田中学校長）

○欠席者：薬師寺 広隆（第一ゼミナール金剛校 校長）

○事務局：校長、教頭、古崎首席

<次第>

1. 校長挨拶
会長挨拶

2. 文化祭見学

3. 報告

①令和2年度学校経営計画進捗状況について

②コロナ禍における学校運営の報告（学校休業・新形態学校祭・推進費認定等）

③100周年に向けて

④教科書選定について

⑤その他

4. 協議

○主な意見・質問等

・学校経営計画進捗・コロナ禍における学校運営について

コロナによる学校休業等につき、り患した生徒、及び取り巻く環境がどうか心配する。

一方でクラスターにならないような環境整備をお願いしたい。

推進費の獲得もあり、オンラインができる体制になっていることは良い。一方で対面授業の良さとオンラインの良さを上手く融合してもらえば良いと思う。

入試の形態変更等について、奮闘いただき感謝している。変わらず寄り添う形での指導をお願いする

学力分析について 学力とは何か 学力をつけるためにどのようなことをしているか。

ベネッセ等の客観分析を利用しながら、強化点を探る作業を行っている。何を持って学力とし、どのように伸ばしていくかを共に考えていきたい。

学校祭について、たくさんの笑顔に触れられて嬉しかった。様々な制約の中で、どう自分たちを発揮できるか、楽しんでほしい。

・100周年について

先行している高校（豊中高校、生野高校）の視察共有、寄付目標 3500 万円、学校祭なども利用して啓発していきたい。

・教科書選定について 状況を承認いただいた。

（座長まとめ）

コロナ禍の中、安全の確保と教育活動の推進の両立は大変だと思うが、オンライン化の動きや、新しい形態の学校祭など、決断され、実行されている先生方の苦勞に感謝。

オンラインの力も感じたが、改めて対面の力が非常に強いことを認識しました。行事が生徒の成長を進めている。また人格形成に寄与している。人と人とのつながりをこれからも大切に登美丘らしい学校運営を期待します。教職員の皆さん、健康に注意して推進をよろしくお願いします。

*第3回：令和3年1月26日（火）14時より開催予定